様式2

社会資本総合整備計画　事後評価シート
白子三丁目中央地区

令和３年２月

埼玉県和光市

※記入にあたっての留意事項（このページは、提出の際には添付する必要はありません。）

本様式の記入にあたって、下記の点に留意してください。

1. モニタリング（一部の結果）・事後評価・フォローアップの3段階について、記入欄を色分けで区分しています。
それぞれの結果を該当欄に記入してください。

段　階	内　容	時　期	記入欄の色分け
《第一段階》モニタリング	事業期間中に、実施状況、数値目標の達成状況、効果発現の状況を確認する	交付期間中の任意の時期	
《第二段階》事後評価	評価項目の計測（見込みの値でも可）、効果発現に関わる要因、今後のまちづくり方策等を整理する	最終年度	
《第三段階》フォローアップ	事後評価時に「見込みの値」としたものに対して、事業終了後に、確定した数値で再度整理する	原則、交付終了の翌年度	

2. 記入項目の詳細や記入例については「事後評価シート作成の手引き」を参照してください。

3. 記入欄が不足する場合には、適宜、欄（枠）を拡張するなどして記入して下さい。

4. 国への提出後、必要に応じて再提出等のために修正を行う場合は、従前の記載内容は削除せず、消し線を用いて下さい

例1）数値等の軽微な修正
【修正前】 〇〇整備事業　面積　~~2,300㎡~~
【修正後】　　2,800㎡
例2）文章の修正
【修正前】・・・するものとし、特に、●●館のイベント等に関する~~情報を発信していくものとする。~~
【修正後】　　特に、●●館のイベント等に関する最新情報をリアルタイムでHP上から提供していくものとする。

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	和光市	地区名	白子三丁目中央		面積	7
交付期間	平成29年～令和元年	事後評価実施時期	R02年	交付対象事業費	523	国費率	0.33	

1）事業の実施状況

		事業名
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	土地区画整理事業
	提案事業	

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業			
	提案事業			
新たに追加した事業	基幹事業			
	提案事業			

交付期間の変更	当　初		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
	変　更		

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	消火困難区域を0%に減少	%	11.40	28	0.00	1		0.00	○	あり	●	予定どおり道路築造工事並びに供給処理施設工事が進捗したため	
										なし			
指標2										あり			
										なし			
指標3										あり			
										なし			
指標4										あり			
										なし			
指標5										あり			
										なし			

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1												
その他の数値指標2												
その他の数値指標3												

4）定性的な効果発現状況

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス		都市再生整備計画に記載し、実施できた		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築		都市再生整備計画に記載し、実施できた		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2－2　地区の概要

白子三丁目中央地区（埼玉県和光市）　社会資本整備総合交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
土地区画整理事業の実施による計画的な市街地整備を行い、新規住民の受け皿となる良好な災害に強い住環境の形成	消火困難区域を0%に減少	単位：　%	11.40	H28	0.00	R01	0.00	R02

まちの課題の変化	道路築造やスーパーマーケットの開店による自動車や歩行者動線の変化に伴い、これまでとは異なった安全対策やスクールゾーンの見直しが求められる。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	交通危険個所や安全対策を要する箇所について地域住民の意見や要望を拾い上げるとともに、学校や警察と連携して通学路の確認とスクールゾーンの指定変更を進めていく。